

平成 30 年度「びわ湖のめぐみ」おもてなし食堂事業委託にかかる質問に対する回答

Q 1) 「びわ湖のめぐみ」おもてなし食堂におけるハレの食事体験」のハレとはどういう意味ですか。

A 1) ハレとは特別なという意味合いで使用しています。ハレの食事体験とは、お客様にとっての特別な食事体験ということで、琵琶湖を感じることでできる様々なロケーションにおいて「びわ湖のめぐみ」を感じることでできる新たなコースメニューを提供していただき、さらに料理人からも食材に関するストーリー等を直接語っていただくことによって、お客様にびわ湖のさかなの魅力を知っていただき、湖魚のイメージや認知度を向上させることができる特別な場となるようにご提案をお願いします。

Q 2) 「びわ湖のめぐみ」おもてなし食堂の展開としての昨年の実績はどうなっていますか。

A 2) 昨年度は「琵琶湖八珍」を対象とした「琵琶湖八珍」食堂を展開しました。琵琶湖に抱かれた特別な空間を4か所選定し、コース料理の開発とモニター体験(43名)を行いました。また、期間中、新メニューをのべ338食提供しました。

Q 3) 「びわ湖のめぐみ」おもてなし食堂の展開では4回実施することとありますが、別の時期に実施する必要がありますか。

A 3) 「びわ湖のめぐみ」街角おもてなし食堂と連動性を持たせていただきたいので、4か所で同時期に開催していただいても構いません。反対に別の時期に4回開催の方がより効果的であるということであれば、その内容をご提案ください。

Q 4) 「びわ湖のめぐみ」おもてなし食堂は県内での実施が必須で、「びわ湖のめぐみ」おもてなし街角食堂は県外での実施でも可能であるという認識でよろしいですか。また、「びわ湖のめぐみ」おもてなし街角食堂の開催時期、回数は自由に設定してもよろしいですか。

A 4) 「びわ湖のめぐみ」おもてなし食堂は琵琶湖に抱かれた特別な空間での展開をお願いします。「びわ湖のおもてなし街角食堂」は基本的には県内の店舗を想定していますが、「びわ湖のめぐみ」を扱っていただいている(いただける)近隣他

府県の店舗も対象と考えてください。「びわ湖のめぐみ」おもてなし街角食堂の開催時期、回数については制限はありませんが、「びわ湖のめぐみ」おもてなし食堂と連動して展開し、PRしていただくことで、より効果が出るようにご提案をお願いします。

Q 5) 「びわ湖のめぐみ」おもてなし街角食堂の展開としての昨年の実績はどうなっていますか。

A 5) 昨年度は「琵琶湖八珍」を対象とした「琵琶湖八珍」サテライト食堂を展開しました。誘致した県内外160店舗との連携により、フェアを開催しました。

Q 6) おもてなし食堂として協力していただく宿泊施設などへの謝礼金は発生しますか。昨年はどうでしたか。

A 6) 昨年と同様、謝礼金は委託費の対象としておりません。

Q 7) 滋賀県観光キャンペーン「虹色の旅へ。滋賀・びわ湖」とのコラボイベントの展開では、「びわ湖のめぐみ」おもてなし食堂や「びわ湖のめぐみ」街角おもてなし食堂のプレイベントとするとありますが、「びわ湖のめぐみ」おもてなし食堂や「びわ湖のめぐみ」街角おもてなし食堂より前に実施することになりますか。

A 7) 観光キャンペーンの期間が7月15日から12月24日までとなっていますので、その期間中にコラボイベントを展開していただいて、その後に「びわ湖のめぐみ」おもてなし食堂や「びわ湖のめぐみ」街角おもてなし食堂を連動性を持たせて展開していただくことをイメージしています。ただし、コラボイベントよりも早い時期から食堂を展開した方がより効果的であるということであれば、その内容をご提案ください。

Q 8) コラボイベントは、「企画電車」の中でのみ提案するのですか。

A 8) 「企画電車」でのご提案をお願いします。

Q 9) 「企画電車」はどういったものですか。日程（開催時期）、車両数、乗客数の予想、活用できるスペース、制限などを教えてください。何か他の企画も並行して同じ電車で実施されますか。

A 9) 企画電車の内容については、現時点では近江鉄道と調整中であり確定したものはありませんが、観光キャンペーンのテーマのうち、食を柱にして、県産食材の料理（弁当等）を提供する企画電車を想定しています。10月頃に1回または2回程度の運行を予定しており、車両数2両で、各日70～100人程度の乗客数を見込んでいるものです。企画提案にあたっては、対応可能な回数をお示しください。活用できるスペースや制限等については、企画の内容や規模等によって近江鉄道等との調整が必要となりますが、企画電車で提供する料理（弁当等）に琵琶湖産魚介類またはその料理の提供、出発駅や停車駅、車両内などを活用した企画等が実施可能と考えていますが、鉄道の安全な運行に影響を及ぼすようなことは制限されるものをご理解ください。

Q10) 滋賀県観光キャンペーンで観光交流局が発行される冊子の中で予定されている「びわ湖のめぐみ」の企画のスペースはどの程度ですか。

A10) 観光キャンペーンでは9月20日をめどに当該キャンペーンの季刊パンフレット（A4、16ページ程度）を発行予定です。当企画は、観光キャンペーンの特別企画の一環で行う企画電車の一部となりますが、企画の掲載スペースについては、現段階で確定しておりません。当企画の確定状況に応じて、掲載スペースも変わってくると考えています。また、本季刊パンフレットについては、7月あたりから原稿を作成し、8月末入稿で作業を進める予定ですので、それを踏まえて、当企画の取組スケジュールを検討いただきたいと思いますと考えています。

Q11) PR資材は企画だけすれば良いのですか。

A11) 昨年度の「琵琶湖八珍食堂」では委託の中で冊子、ポスター、チラシなどを作成していただきお店で活用していただきました。今年度についても、効果的なPR資材の作成までお願いします。

Q12) メインタイトルは「びわ湖のめぐみ」を使用すると考えてよいですか。「琵琶湖八珍」という言葉やマークは訴求ツール等に入っても大丈夫ですか。

A12) メインタイトルは「びわ湖のめぐみ」の使用をお願いします。「琵琶湖八珍」も「びわ湖のめぐみ」に含まれますので、琵琶湖八珍マイスター店舗の参加募集や参加店のPRなどに関して、言葉やマークも使っていただいても構いませんが、あくまでも「びわ湖のめぐみ」がメインとなるようにご提案をお願いします。

Q13) メインのビジュアルは昨年のものを踏襲するのですか。

A13) メインのビジュアルについては特に踏襲する必要はありません。琵琶湖八珍のロゴマーク、琵琶湖八珍マイスター店舗のステッカー、のぼりについてはこれまでのデザインの使用をお願いします。

Q14) この事業は何回目の開催になりますか。

A14) 昨年度は「琵琶湖八珍」を対象にしており、今年度は「琵琶湖八珍」をはじめ、セタシジミなども含む「びわ湖のめぐみ」を対象に範囲を拡大していますが、食堂事業としては2回目（年目）になります。

Q15) この事業のターゲットはどのような人になりますか。

A15) 県内の琵琶湖産の魚介類をあまり知らない消費者はもちろん、県外の消費者も対象として考えています。滋賀県観光キャンペーン「虹色の旅へ。滋賀・びわ湖」が7月15日から12月24日まで開催され、県外からの呼び込みにも力を入れていますので、京阪神などを中心に来県していただき、琵琶湖産の魚介類を食べてもらえるようなご提案をお願いします。

Q16) この事業の効果や数値目標についてはどのように考えていますか。

A16) 事業の実施が消費拡大、流通促進につながると考えていますが、例えば飲食店における湖魚の取り扱い量が20%増えたなど具体的な数字というのはこれまでなかなか把握できませんでした。しかし、具体的な効果を把握する必要があると考えますので、この事業を受託していただける事業者の方には、効果を数字として把握していただきたいと考えております。

数値目標としては、琵琶湖八珍マイスター店舗を指標にしたいと考えています。琵琶湖八珍マイスター店舗につきましては、平成29年度末で191店舗に登録していただいておりますが、このうち卸しなどの店舗は直接消費者と接することがない業態の事業者もあり、フェアへの参加は160店舗でした。平成30年度につきましては、マイスター登録数が200店舗を超えることつながるよう、平成29年度の160店舗を参考にフェアの参加規模を設定いただくようお願いします。

Q17) 昨年実施した成果は滋賀県としていかがでしたか。

A17) 県内外の多くの消費者に琵琶湖八珍などの琵琶湖産魚介類を食べていただく機会を創出し、様々なメディアを通じてPRすることで、琵琶湖産魚介類のイメージや認知度を向上させることにつながったと考えています。